

【JBA会員・IPSN会員・知的財産委員会関係者 限定】



知的財産委員会セミナー（ZOOM）

代替たんぱく源としての昆虫の利用可能性と 今後の研究開発動向

近年、大手食品メーカーからクリケット（コオロギ）フードが上市されるなど、日本でも付加価値のある食品原料として評価、採用する動きが出てきた。食品業界だけでなく、異業種からの参入意欲も高く、破壊的なイノベーションが生まれるのではないかという期待感の高さがうかがえる。

本講演では、昆虫の栄養的特性と、養殖生産時の環境負荷の観点から、代替たんぱく源としての利用可能性を考察すると共に、昆虫食品生産のどの部分に各社の狙いが向いているのか、今後の研究開発の方向性について概観する。

また、市場創造の起点となる「初期市場のニーズ」の見極めについて、FUTURENAUT社のターゲットマーケティング研究の成果から、初期市場の反応と商品戦略の方向性を解説する。

開催日時：2021年12月3日（金）13時より14時30分

【ご講演60分、Q&A20分 予定】

「代替たんぱく源としての昆虫の利用可能性と 今後の研究開発動向」

FUTURENAUT株式会社・取締役CTO/
高崎経済大学・教授 飯島 明宏 氏

参加申込：参加無料、JBA会員・IPSN会員・委員会関係者限定。
JBAホームページ(<https://jba.or.jp/jba/seminar/>)より
お申し込みください。

申込締切：2021年12月2日（木）15時

問合せ先：(一財)バイオインダストリー協会 kikaku@jba.or.jp
(担当：村山、近藤、小山)